

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

入学試験問題

(2枚のうち1枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	人と自然の共生		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1 (1)～(9)のうち、5つを選択して解答してください。また、選択した問題の番号を書いたから、解答してください。

- (1)食料自給率
- (2)多面的機能支払
- (3)農地法
- (4)エコミュージアム
- (5)グリーンツーリズム
- (6)グリーンインフラ
- (7)市民参加型調査
- (8)公論形成の場
- (9)30by30

【応用】

問題2 (1)～(3)のうち、1つを選択して解答してください。また、選択した問題の番号を書いたから、解答してください。

(1) 次の①および②について解答してください。

- ① 近年、自然再生が日本や海外で実施されています。なぜ自然再生が進められるようになったのか、そして、自然再生とはどのような取り組みなのか解説してください。
- ② 自然再生と地域再生の両立を目指すためには、どのようなことが課題となると考えますか。あなた自身の考えとその理由を記述してください。

(2) 次の①および②について解答してください。

- ① 農村地域を含む市町村について、「当該普通地方公共団体のインフラ関連の予算(支出)が大きく減少する」と仮定してください。その際、どのようなことが起こると考えられますか。そのように考えた理由も記述してください。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

入学試験問題

(2枚のうち2枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	人と自然の共生		

② 農村地域を含む市町村について、「当該普通地方公共団体のインフラ関連の予算(支出)が大きく減少し、かつ、当面は回復の見込みがない」という状況を想定してください。このとき、大学(特に金沢大学大学院人間社会環境研究科のような分野)の研究者にできそうなことは何ですか。ここでは、あなた自身の考えを聞いています。そのように考えた理由も記述してください。

(3) 次の①および②について解答してください。

① 環境省が認定する自然共生サイトの取り組みが各地で推進されています。金沢大学のキャンパスである角間の里山で実施する場合、どのような意義もしくはハードル、今後の可能性があるでしょうか。あなたの考えを述べてください。

② 自然共生社会の実現にむけ、どのようなアクティビティを自然共生教育プログラムとして展開するのが効果的でしょうか。あなたが考える自然共生教育プログラムを、どこでどのようなことを行うかを中心に、具体的に提案してください。

2026 年度 1 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 一般・外国人

科目名 人と自然の共生

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

(1) ～ (4) の出題意図

「人と自然の共生」では、「農業・農村」に関する視点が重要である。ここでは、「農業・農村」の分野で、基礎的と考えられる用語から出題した。関連する資料／文献は次のとおり。

(1) 『令和 6 年度 食料・農業・農村白書』（用語の解説・基本統計用語の定義）

[https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w\\_maff/r6/pdf/r6\\_yougo.pdf](https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r6/pdf/r6_yougo.pdf)

(2) 農林水産省の Web サイト。 [https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html)

(3) 『改訂農村計画学』（改訂農村計画学編集委員会，農業農村工学会発行，2003） pp. 52-102

(4) 『改訂農村計画学』（改訂農村計画学編集委員会，農業農村工学会発行，2003） pp. 163-213

(5) ～ (8) の出題意図

「人と自然の共生」では、環境社会学の理論・視点が重要である。ここでは、『よくわかる環境社会学 第 2 版』（鳥越博之・帯谷博明編，ミネルヴァ書房，2017）、『環境社会学辞典』（環境社会学会編，丸善，2024）から、基礎的な用語、押さえておくべき近年の用語を出題した。関連する文献は次の通り。

それぞれの用語の掲載箇所（頁）は以下の通りである。

(5) 「グリーン・ツーリズム」『環境社会学辞典』（環境社会学会編，丸善，2024） pp. 306-307、『よくわかる環境社会学 第 2 版』（鳥越博之・帯谷博明編，ミネルヴァ書房，2017） p.79

(6) 「グリーンインフラ」『環境社会学辞典』（環境社会学会編，丸善，2024） pp. 440-441

(7) 「市民参加型調査」『環境社会学辞典』（環境社会学会編，丸善，2024） pp. 438-439

(8) 「公論形成の場」『環境社会学辞典』（環境社会学会編，丸善，2024） pp. 166-167

(9) の解答例

「人と自然の共生」では、「自然共生社会」に関する視点が重要である。ここでは「自然共生社会」の分野で、基礎的と考えられる用語から出題した。関連する資料／文献は次のとおり。

環境省 HP 「30by30 とは？」

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>

## 問題 2

### (1) の出題意図

人と自然の共生では、自然と共生を目指した取り組みに対して、フィールドワークと理論思考を融合させながら、「多面的な側面に対する理解能力」と「未来を考えていく能力」が問われる。①は、自然再生という概念、視点、意義を確認するものである。②は、「正解」というものが特になく問題であるが、研究姿勢と実践への指向性、基本的な論文執筆能力を判断するものである。論の立て方の適切さで採点する。

### (2) の出題意図

「人と自然の共生」では、農村地域のインフラの維持管理が重要であり、厳しい状況を前提とした「思考実験」の力、厳しい状況下であっても思考を放棄せず考え続ける力の二つが求められる。①は、前者に対応した問題、②は、後者に対応した問題である。いずれも、模範解答は存在しないが、研究に必要な「観察力」「思考の広がり（多面的・多角的な視点）」「思考の流れ（例：原因と結果）」などを評価する。

### (3) の出題意図

「人と自然の共生」では、自然共生社会を山林、河川・海域など国土の中のさまざまな場所で実現していくことが重要である。①では自然共生サイトに関する理解とその応用可能性を自身で考察できるかを問う。

自然共生サイトの理解については環境省の HP の記述を参照とする。

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

②では、社会実装として広く普及していく際に教育活動としてどのような展開が重要か理解し、実践に向けた考察ができるかを問う。定義としての正解はなく、深い思考力を問う内容とする。

2025 年度 10 月入学 金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
入学試験問題

( 1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般
試験科目	地域協働		

次の問題に答えなさい。なお、解答は指定の用紙を使用しなさい。

**【基礎】**

以下の 6 個の用語から 4 個を選択し、その意味を説明しなさい。

解答の順番は問わないが、どの語を選択したのかが分かるように記述すること。

- (1) 地区計画
- (2) ニューアーバニズム
- (3) 田園都市
- (4) デザイン・サーヴェイ
- (5) コスモロジー
- (6) 事前復興

**【応用】**

以下の問いについて解答しなさい。

発展途上国における居住環境改善事業の歴史的な経緯と対策およびその課題について説明せよ。対策については、可能な限り具体的な実例を挙げて説明すること。

2025 年度 10 月入学 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般

科目名 地域協働

解答例又は出題意図

【基礎】

「地域協働」で取り扱われる内容は、都市や集落など地域の計画に係る思想、制度、実例、歴史など多岐にわたる。出願者がこれらの広範な分野に関する基礎的な知識を有するか否かを評価することを意図し、参考図書から満遍なく関連用語を抽出したうえで、そこから選択した内容に関して説明を求めた。

- ① 地区計画（脇田祥尚：みんなの都市計画，理工図書，pp. 57）
- ② ニューアーバニズム（同上，pp. 191）
- ③ 田園都市（同上，pp. 184~186）
- ④ デザイン・サーヴェイ（同上，pp. 200）
- ⑤ コスモロジー（同上，pp. 183）
- ⑥ 事前復興（同上，pp. 95）

問題 2

地域創造学専攻で重視される「地域特性への配慮」の重要性を、建築・都市計画的な観点からの潮流を踏まえて論じる知識と理解力を有しているか、また具体的な地域の事例に関する関心と知識を有しているかを評価することを意図し、居住環境改善に関する歴史的経緯と諸課題について具体的な事例を通じて説明することを求めた。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

( 1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	共生社会		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1 以下の8つの用語から4つ選択し、その意味を説明してください。解答の順番は問いませんが、選択した( )の番号を文頭に明記してください。

- (1) 統合 integration
- (2) 移民ネットワーク migrant network
- (3) 市民権 citizenship
- (4) ディアスポラ diaspora
- (5) 多文化主義 multiculturalism
- (6) 選択性 selectivity
- (7) 内部移動 internal migration
- (8) エスニック・エンクレイブとエスニック経済 ethnic enclaves and ethnic economies

【応用】

問題2 A.ポルテスらが提唱する分節的同化論 segmented assimilation について、(1)同理論の要点・骨子を説明するとともに、(2)それに対するあなたの見解を述べてください。

問題3 (1)日本における 1990 年代以降の移民／外国人受入れ政策の特徴を説明するとともに、(2)近年の政策転換が地域社会に与える影響についてあなたの見解を述べてください。

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 共生社会

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

出題意図：「共生社会」のうち国際社会学／移民研究に関する基礎的知識の習得を確認するために出題した。Key Concepts in Migration (Sage, 2014)から出題した。

問題 2

出題意図：分節的同化論は国際社会学／移民研究における最重要理論の1つである。ここでは（1）主要理論の要点と背景に関する高度な理解を問うとともに、（2）先行研究を踏まえた批判的洞察力と分析力を問うために出題した。（参照：Immigrant America, 4th ed. (University of California Press, 2014)）

問題 3

出題意図：日本における「共生社会」に関わる専門的知識と思考力を問うものである。（1）は、日本の多文化状況を形成する要因を広い時間的視野から把握できているか、そして（2）は、先行研究を踏まえつつ、ナショナルとローカルの視点を接合し社会現象を客観的かつ論理的に考察する能力をみるために出題した。（参照：「国際社会学 改訂版」（有斐閣、2023年））

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

入学試験問題

( 1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	地域創造学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	スポーツ指導研究		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題 1

(1) (2) について解答してください。なお、解答の順番は問いませんが、選択した問題の番号を書いてから解答してください。

(1) 教科等横断の視点に立った資質・能力の育成について、学校体育に関わる具体例を挙げながら説明してください。

(2) 今日、人々とスポーツとの多様な関わり方の重要性が指摘されています。スポーツとの多様な関わり方とは何かを、背景を踏まえたうえで具体例を挙げながら説明してください。

【応用】

問題 2

以下の問いを読み、(1) と (2) について解答してください。

第 3 期スポーツ基本計画(2022)では、計画的に取り組む施策の一つとして、地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実が掲げられています。

(1) 地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実のための具体的な課題を説明してください。

(2) 上記(1)で指摘した課題を解決するための方策について具体的に論じてください。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学 選抜区分 一般

科目名 スポーツ指導研究

解答例又は出題意図

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1

(1)(2)について解答してください。なお、解答の順番は問いませんが、選択した問題の番号を書いてから解答してください。

(1) 教科等横断の視点に立った資質・能力の育成について、学校体育に関わる具体例を挙げながら説明してください。

(2) 今日、人々とスポーツとの多様な関わり方の重要性が指摘されています。スポーツとの多様な関わり方とは何かを、背景を踏まえたうえで具体例を挙げながら説明してください。

・出題意図

スポーツ教育学分野に関わる基礎的知識を身に付けているかを確認するものである。

【応用】

問題2

以下の問いを読み、(1)と(2)について解答してください。

第3期スポーツ基本計画(2022)では、計画的に取り組む施策の一つとして、地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実が掲げられています。

(1) 地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実のための具体的な課題を説明してください。

(2) 上記(1)で指摘した課題を解決するための方策について具体的に論じてください。

【出題意図】

・大学院進学後、スポーツ教育学に関する専門的課題に対応できる知識を有しているか確認するものである。また、課題解決に向けての分析力や論理的思考を有しているかを確認するものである。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
入学試験問題

( 1枚のうち 1枚目)

専攻名	地域創造学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	教育支援研究		

次の問題に答えてください。なお、解答は指定の用紙を使用してください。

【基礎】

問題1 以下の人名／用語について説明しなさい。(答案用紙にはどの設問の解答であるかがわかるように解答番号を付記すること)

- (1) ユネスコ学習権宣言
- (2) ルーブリック
- (3) 教育 DX
- (4) ブルーナー (Bruner, J. S.)

【応用】

問題2 現代において、関係性の中で育まれる学力・リテラシー観が重要視されなければならないのはなぜか。また、この観点に基づいた場合、教育者に求められる工夫はどのようなものか。以上、2点について論じなさい。

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 地域創造学専攻 選抜区分 外国人

科目名 教育支援研究

解答例又は出題意図

**【基礎】**

問題1の出題意図は、教育方法に関わる代表的な人物・用語の理解度を測るものである。

**【応用】**

問題2の出題意図は、大学院進学後に専門的課題に取り組むうえで求められる知識・論理的思考力を有しているかを確認するものである。